地域再生計画

１　地域再生計画の名称

海抜 0m から 1,982m の雄大な自然環境フィールドを活用したアウトドア活動促進による地域活性化計画

２　地域再生計画の作成主体の名称

西条市

３　地域再生計画の区域

西条市の全域

４　地域再生計画の目標

４－１　地方創生の実現における構造的な課題

本市が誇る西日本最高峰石鎚山には年間約10万人の登山者がおり、また石鎚山の恵みによりもたらされた海抜0mから1,982mの雄大な自然環境フィールドにおいて、様々なアウトドア活動が楽しまれている。これら地域資源を活用したさらなる観光振興と持続可能な資源化を図るため、周辺自治体と連携し、平成28年度から地域再生計画「石鎚山系の魅力発信及び持続可能な資源とする事業」をもって、情報発信と安全対策、環境保全等多面的な取り組みを進めている。

ただこれらの状況と乖離し、本市にはアウトドア用品が揃えられる店舗等が少なく、宿泊業者はじめ観光関連サービス産業が十分であるとは言えない状況から、来訪者に対する利便性が乏しく、結果、発信力及び市内での回遊性の弱さに繋がっている。

そのため、アウトドア活動拠点施設の整備を図り、どのような楽しみができるのかということを十分に発信していくことするとともに、「手ぶらで行っても楽しめる」といった利便性向上に向けた対応し、アウトドアフィールドとしてのブランド力強化を図ることが必要と考えられる。

４－２　地方創生として目指す将来像

本市は西日本最高峰の石鎚山はじめ石鎚山の恵みを受けた自然環境といった雄大なフィールドを有しており、アクティビティを楽しむため国内のみならず海外からも多くの来訪者がありながら、観光関連サービス産業等が必ずしも活況と言

えない現状にある。

この優位性及びポテンシャルを有する地域資源を活用したアウトドア活動の促進を図る中、石鎚山ハイウェイオアシスがアウトドア活動の拠点施設としての機能面を有するのみならずアウトドアに関心を有する層に認識され来訪者が増加することにより、当該施設をハブとして各フィールドへの人の流れが創出され、地域のサービス産業などの生産性及び収益性の向上につなげるといった好循環を目指す。

【数値目標】

	事業開始前（現時点）	H30 年度増加分 1 年目	H31 年度増加分 2 年目	H32 年度増加分 3 年目	H33 年度増加分 4 年目	H34 年度増加分 5 年目	KPI 増加分の累計
オアシス館内での売上額（レンタル・講習・物販等売上額）【千円】	81	0	15,000	10,000	8,000	6,919	39,919
おあしす市場での地域農産品等売上額【千円】	35,000	0	2,000	2,000	1,500	1,500	7,000
石鎚山ハイウェイオアシスにおける就業者数【人】	5	0	9	2	2	2	15

５　地域再生を図るために行う事業

５－１　全体の概要

高速道路に面するという適地に存在しながらも、来訪者ニーズを活かしきれていない石鎚山ハイウェイオアシスをリニューアルし、アウトドア用品レンタル及び販売機能、また石鎚山山頂の情報等が入手できる機能とともに登山やボルダリングなど気軽にアクティビティ講習も受けられるビジターセンター機能も有するアウトドア活動の拠点施設化を図り、整備後は、アウトドア関連の来訪者増大により、レンタル・講習・物販等オアシス館内における年間売上 4,000 万円（平成 34 年度）を目指すとともに、地域内の宿泊やサービスなど各産業において収益性向上につなげることを目的とする。

他方、石鎚山ハイウェイオアシスは本市唯一の道の駅でもあり、「おあしす市場」という地域の野菜等を扱う直販スペースがあるが、本市が四国でも有数の農業都市であることを発信しきれていないことから、売り場面積の増大及び売り場

自体の魅力を向上させ、おあしす市場の年間売上 4,200 万円（平成 34 年度）を目指すことで、ひいては市域の農業や食関連企業等の収益性向上につなげる。

５－２　第５章の特別の措置を適用して行う事業

地方創生拠点整備交付金（内閣府）:【A3007（拠点整備)】

①　事業主体

西条市

②　事業の名称：アウトドア活動促進による収益性向上のための拠点施設整備

③　事業の内容

本市においてアウトドア活動促進による地域活性化を図る中、市内で不足しているアウトドア用品販売場所、情報発信、利便性の向上にあたり、情報収集、アウトドア講習、アウトドア用品のレンタル及び販売といった機能を有する拠点施設として整備を図るものである。

併せて、石鎚山ハイウェイオアシスは道の駅となっていることもあり、農業都市である本市の地域の食についても発信を行っていく。

④　事業が先導的であると認められる理由

【官民協働】

アウトドア用品メーカー等と連携し、「石鎚山ハイウェイオアシス」をアウトドア用品のレンタル及び販売機能を持ち、またアクティビティ講習も受けられるビジターセンター機能を有する来訪者ニーズにあったアウトドア活動拠点として整備することで、「石鎚山ハイウェイオアシス」の売上の拡大、及び近隣の事業者の収益性向上に直接的に寄与することが出来る。

また、同施設で販売する地域産品の売上増により、地域の農家はじめ食関連企業の生産性・収益性向上にも貢献することが出来る。

合わせて、ビジターセンターの機能も有する当該施設を整備してアウトドア活動フィールドとしてブランド力を強化することにより、エリア内への来訪者増加を通じて、宿泊や飲食などサービス関係事業者の生産性・収益性の向上への波及効果も見込める。

【政策間連携】

石鎚山系での観光振興等を図る地域再生計画「石鎚山系の魅力発信及び持続可能な資源とする事業」はもちろんのこと、内閣府と国交省が今年度中に

選定を行う『地方再生コンパクトシティ』においても関連事業の一つとしての位置付け、「地域おこし協力隊」のスキームを活用したNext Commons Lab西条という起業型移住者たちに地域資源を活用し地域の課題等に繋がる取り組みを行ってもらう地域再生計画「ソーシャル・イノベーション創出に向けた新たな起業家誘致プロジェクト」、さらには「山」「ものづくり産業」などを柱に平成 31 年度に開催が予定される愛媛県東予東部圏域振興イベントといった、「地域資源活用」「地域活性化」を共通項とする各種施策と連携し、シナジー効果を生み出したいと考えている。

【地域間連携】

地域再生計画「石鎚山系の魅力発信及び持続可能な資源とする事業」において連携体制を構築している愛媛県久万高原町、高知県いの町、大川村はもちろんのこと、高知県本山町にもアウトドア活動の拠点整備が設置されることから、今後連携した事業実施も既に協議しはじめている状況である。

以上のことから、発信力強化、来訪者の満足度向上のため、これら自治体と面的に情報発信し、誘致を図っていき、当該拠点施設をハブとして、市内はしかり周辺自治体へも人の流れを作っていきたいと考える。

【自立性】

平成34年度におけるオアシス館内でのレンタル・講習・物販等による売上目標を年間4,000万円とし、アウトドア拠点施設として来場者に満足してもらえ、リピート性を高めることで、当該施設の自立性につながると考えている。

同時に地域の食を発信するおあしす市場においても、平成 34 年度における売上目標を年間 4,200 万円とし、B to C のみならず、周辺施設とのB to B の取引も拡大させることにより、収益性向上を目指す。

⑤　重要業績評価指標（KPI）及び目標年月

【数値目標】

	事業開始前（現時点）	H30 年度増加分 1 年目	H31 年度増加分 2 年目	H32 年度増加分 3 年目	H33 年度増加分 4 年目	H34 年度増加分 5 年目	KPI 増加分の累計
オアシス館内での売上額（レンタル・講習・物販等売上額）	81	0	15,000	10,000	8,000	6,919	39,919

【千円】							
おあしす市場での地域農産品等売上額【千円】	35,000	0	2,000	2,000	1,500	1,500	7,000
石鎚山ハイウェイオアシスにおける就業者数【人】	5	0	9	2	2	2	15

⑥　評価の方法、時期及び体制

【検証方法】

当該施設のオープンについては、愛媛県東予東部圏域振興イベントや石鎚山のお山開きなどにあわせて行いたいという考えから、平成31年7月のオープンを考えている。そのため、本施設開設後のイベント数やホームページへのアクセス数などをもって効果検証することとし、検証体制としては関連性が高い地域再生計画「石鎚山系の魅力発信及び持続可能な資源とする事業」において設立した協議会メンバー、ならびに、本市の総合戦略の評価検証を行う機関である「西条市まちづくり市民会議」において効果検証することを考えている。

なお翌年度以降、来場者等をもって継続的に効果検証を図ることとしたい。

【外部組織の参画者】

＜「石鎚山系の魅力発信及び持続可能な資源とする事業」において設立した協議会（石鎚山系連携事業協議会）＞

愛媛大学准教授、高知大学特任教授、（一社）西条市観光物産協会事務局長、久万高原町観光協会会長、いの町観光協会事務局長、大川村ふるさと公社、西条商工会議所課長、（一社）仁淀ブルー観光協議会事務局長、石鎚登山ロープウェイ（株）代表取締役、四国開発フェリー（株）参与、（特非）西条自然学校理事長、（特非）石鎚森の学校事務局長、面河渓を愛する会会長、（株）石鎚観光代表取締役、西条市サイクリング大会実行委員会副実行委員長、高知県サイクリング協会副理事長

＜西条市まちづくり市民会議＞

西条商工会議所会頭、周桑商工会会長、西条市観光物産協会会長、西条青年会議所理事長、社会保険労務士・(株)伊豫西條九万石取締役、愛媛大学地域

協働センター西条准教授、市内高等学校　代表　県立西条農業高等学校校長、西条市中学校校長会　会長　市立東予東中学校校長、(株)伊予銀行西条支店長、(株)愛媛銀行西条支店長、クラレ労働組合　西条支部　執行副委員長、(有)ミートハウスフジタ　、（株）ＰＥＮＴＡ　ＦＡＲＭ　代表取締役、西条市里と山の連携協議会会長、西条市連合自治会会長、西条市愛護班連絡協議会副会長、西条市 PTA 連合会会長、子ども・子育て会議委員、男女共同参画推進会議副会長、（特非）西条まちづくり応援団事務局長

【検証結果の公表の方法】

検証結果については、毎年度、検証後速やかに西条市ホームページにより公表する。

⑦　交付対象事業に要する経費

・法第５条第４項第１号イに関する事業【A3007】

総事業費　　389,232 千円

⑧　事業実施期間

地域再生計画認定の日から平成 35 年３月 31 日（５ヵ年度）

⑨　その他必要な事項

特になし

５－３　その他の事業

５－３－１　地域再生基本方針に基づく支援措置

該 当 な し

５－３－２　支援措置によらない独自の取組

（１）事業：石鎚山系の魅力発信及び持続可能な資源とする事業

事業概要：石鎚山系を有する４自治体が行政の枠を超え、利用者目線での満足度の向上を目指すと同時に、安全確保及び石鎚山系の豊かな生態系や環境保全にかかる取り組みを行うことで、持続可能な資源を目指す。また、広域連携体制のもと面的な情報発信強化を図り、周辺自治体へも人の流れをつくる。

実施主体：西条市、久万高原町、いの町、大川村

事業期間：平成 28 年度～平成 34 年度

（２）事業：ソーシャル・イノベーション創出に向けた新たな起業家誘致プロジェクト

事業概要：地域資源の有効活用や地域課題の解決につながる事業により起業を目指す人材を全国から誘致し、起業家として育成するとともに、シティプロモーションを強化することで、本市への新たな人の流れの創出と地域活力の向上を図る。当事業により移住した起業型移住者たちによる複数の事業展開の一部として、アウトドア拠点施設を活用したアウトドア関連事業や観光関連での積極的な事業展開により拠点施設への来訪者はもとより、地域内の来訪者増大につなげる。

実施主体：西条市

事業期間：平成 29 年度～平成 34 年度

６　計画期間

地域再生計画認定の日から平成 35 年 3 月 31 日まで

７　目標の達成状況に係る評価に関する事項

７－１　目標の達成状況に係る評価の手法

【検証方法】

毎年度、当該拠点施設への来訪者数、イベント参加者数、ホームページへのアクセス数などをもって、3 月末時点の KPI 達成状況を西条市観光振興課においてとりまとめ、「石鎚山系の魅力発信及び持続可能な資源とする事業」において設立した協議会メンバー、ならびに、本市の総合戦略の評価検証を行う機関である「西条市まちづくり市民会議」において効果検証する。

【外部組織の参画者】

「石鎚山系の魅力発信及び持続可能な資源とする事業」において設立した協議会メンバー、ならびに、本市の総合戦略の評価検証を行う機関である「西条市まちづくり市民会議」において効果検証する。

＜「石鎚山系の魅力発信及び持続可能な資源とする事業」において設立した協議会（石鎚山系連携事業協議会）＞

愛媛大学准教授、高知大学特任教授、（一社）西条市観光物産協会事務局長、久万高原町観光協会会長、いの町観光協会事務局長、大川村ふるさと

公社、西条商工会議所課長、（一社）仁淀ブルー観光協議会事務局長、石鎚登山ロープウェイ（株）代表取締役、四国開発フェリー（株）参与、（特非）西条自然学校理事長、（特非）石鎚森の学校事務局長、面河渓を愛する会会長、（株）石鎚観光代表取締役、西条市サイクリング大会実行委員会副実行委員長、高知県サイクリング協会副理事長

＜西条市まちづくり市民会議＞
西条商工会議所会頭、周桑商工会会長、西条市観光物産協会会長、西条青年会議所理事長、社会保険労務士・(株)伊豫西條九万石取締役、愛媛大学地域協働センター西条准教授、市内高等学校　代表　県立西条農業高等学校校長、西条市中学校校長会　会長　市立東予東中学校校長、(株)伊予銀行西条支店長、(株)愛媛銀行西条支店長、クラレ労働組合　西条支部　執行副委員長、(有)ミートハウスフジタ　、(株)ＰＥＮＴＡ　ＦＡＲＭ　代表取締役、西条市里と山の連携協議会会長、西条市連合自治会会長、西条市愛護班連絡協議会副会長、西条市 PTA 連合会会長、子ども・子育て会議委員、男女共同参画推進会議副会長、（特非）西条まちづくり応援団事務局長

７－２　目標の達成状況に係る評価の時期及び評価を行う内容

【数値目標】

	事業開始前（現時点）	H30 年度増加分１年目	H31 年度増加分２年目	H32 年度増加分３年目	H33 年度増加分４年目	H34 年度増加分５年目	KPI 増加分の累計
オアシス館内での売上額（レンタル・講習・物販等売上額）【千円】	81	0	15,000	10,000	8,000	6,919	39,919
おあしす市場での地域農産品等売上額【千円】	35,000	0	2,000	2,000	1,500	1,500	7,000
石鎚山ハイウェイオアシスにおける就業者数【人】	5	0	9	2	2	2	15

７－３　目標の達成状況に係る評価の公表の手法

目標の達成状況については、毎年度、検証後速やかに西条市ホームページにより公表する。